

神奈川県新体操クラブ連盟 大会ルール

2024年度版

# 神奈川ルール

## <総則>


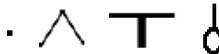
【マーク】 位置はウエストより上で、前面または腕にしっかり付ける。

【手 具】 中学年は以下のことにおいて使用を認める。

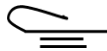
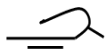


- ・新体操用のジュニア手具を認める。
- ・フープの内径は60cm以上とする。
- ・ボールの直径を15cm以上とする。
- ・クラブの長さは36cm以上とする。
- ・リボンの長さを4m00cm以上とする。


\* 上記以外においては、採点規則22～24(マークアップ含む)に準ずる。

## 【1部】

徒 手 個 人	低 学 年 ・ 中 学 年	<p>・DB(身体難度) 最低6難度～最高7難度</p> <p>・  規則集の難度表から同じ種類、同じ価値の難度を左右1回ずつ計6難度</p> <p>・1難度自由(左右以外で高いもの)</p> <p>・S(ダンスステップコンビネーション) ……最低2個</p> <p>・全身を使った波動 ……最低2個</p> <p>注) ① DB・S・全身波動の不足(それぞれ一括0.3点の減点、最大0.9点の減点となる)</p> <p>② バランス及びステップには手の動作を入れること。</p> <p>③ 演技時間は1分～1分30秒とする。</p> <p>④ 上記以外においては採点規則(22～24)に準ずる。</p> <p>* D得点+神奈川ルール評価表=最終得点</p>
手 具 個 人	中 学 年	<p>・DB(身体難度) 最低6難度～最高7難度</p> <p>・  規則集の難度表から同じ種類、同じ価値の難度を左右1回ずつ計6難度</p> <p>・1難度自由(左右以外で高いもの)</p> <p>・DA(手具難度) 最も高いものから3個カウント</p> <p>・R(リスク) ……手具が空中下にある時に1回転で成立する (1回転で0.1点)</p> <p>注) ① DB(身体難度)の不足(一括0.3点の減点となる)</p> <p>② DB(身体難度)中の手具操作は左右同じやり方でもよい。</p> <p>③ 上記以外においては採点規則(22～24)に準ずる。</p>
	高 学 年 ・ 生 徒	<p>・採点規則(22～24)に準ずる。</p> <p>・R(リスク) ……手具が空中下にある時に1回転で成立する (1回転で0.1点)</p>

## 【2部】

徒手個人	低学年・中学年	10難度（以下の難度以外不可）					
		身体のグループ	難度	回数	身体のグループ	難度	回数
		ジャンプ	垂直とび 	2回連続を1回	柔軟・波動	前屈 座位または立位 	1回
		バランス	横パッセ フ	左右各1回		後屈 座位または立位 	1回
		ローテーション	シェネ ✳	2周連続 左右各1回		左右開脚 	1回
ステップ	S	複数入れても 良いが1つのみ カウントされる (8秒間)	全身を使った波動・蛇動 	1回			
<p>注) ① 難度の価値点は全て0.3点とする。          ② 10難度の不足(一括0.3の減点となる)          ③ バランスはアテールでもよい。価値は0.1点下がる(↓)          ④ 左右と表記しているものは連続でも切り離しても可。          ⑤ バランス及びステップには手の動作を入れること。          ⑥ 演技時間は1分～1分30秒とする。</p> <p>* 低学年 上記の難度を入れて楽しく踊る(コメント形式)          * 中学年 D得点+神奈川ルール評価表=最終得点</p>							

手具個人	中学年・高学年・生徒	・DB(身体難度) 最低3難度～最高6難度
		 (それぞれ最低1個)
<p>・DA(手具難度) 最も高いものから3個カウント(入れても入れなくてもよい)</p> <p>・プレアクロバット……最低1個          * R,DAIにこだわらず、手具との関わりがあること。</p> <p>・ダンスステップコンビネーションや波動蛇動などを組み合わせて構成すること。</p>		
<p>注) ①DB(身体難度)・プレアクロバットの不足(それぞれ一括0.3の減点となる)          ②DB(身体難度)中の手具操作は同じやり方でもよい。</p>		
<p>* D得点+神奈川ルール評価表=最終得点</p>		

## 【徒手団体】

DB(身体難度)	<b>最低3難度～最高7個</b> ● シャンプ・バランス・ローテーションは全員同型で各最低1個 ● サブグループは2個まで可能	価値 難度表の通り
関係	【キッズ】 最低3個 最高8個 【チャイルド】 最低4個 最高10個	下記の通り
ステップ	8秒間 最低 3個	不足の場合0.3減点
W	最低2個	不足の場合0.3減点

		価値
選手間の関係	【回転無し】パートナーの間や上、下を通過する	0.1
	【垂直軸】パートナーの間や上、下を通過する	0.2
	【プレアクロ】パートナーの間や上、下を通過する	0.3
	【リフト】 <キッズ>禁止	0.5
	<チャイルド>腰より上に持ち上げる(1回のみ)	
	リフトは全員が関わること。単独であること。	

※人数にかかわらず加減なし

- 注) ① 身体グループは難度規則集から選択し、左右はなしとする  
 ② バランス及びステップには手の動作をいれること  
 ③ 選手間の関係は「通過直後の回転」でもよい  
 ④ プレアクロバット要素は、採点規則集のNo.1～No.13に準じる。  
 ⑤ 土台のためのリフトは禁止  
 ⑥ 演技時間2分15秒～2分30秒とする  
 ⑦ 上記以外においては、採点規則(22～24)に準ずる

\* D得点+神奈川ルール評価表=最終得点